

郵便はがき

料金別納郵便

NISSIN SERVICER

## ニッシン債権回収株式会社 株主通信

第10期 第2四半期報告書 平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日



**株主名簿管理人**  
みずほ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所**  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社  
証券代行部 TEL. 0120-288-324

① 開く 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出および生産の増加や企業収益の改善など、一部に持ち直しの動きが見られるものの、失業率は高水準にあり、雇用、所得環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、資産と負債の圧縮およびコストの削減、受託業務の拡大等による資金効率を高めた収益構造への転換を図ることを重点課題とし、経営改善に努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

もりいずみ ひろかず

**森泉 浩一**

## 要約連結貸借対照表

(百万円)

	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	26,542	25,294
固定資産	4,177	3,124
資産合計	30,719	28,418
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,712	19,087
固定負債	3,769	2,352
負債合計	23,481	21,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,037	2,713
評価・換算差額等	42	114
新株予約権	68	62
少数株主持分	4,090	4,088
純資産合計	7,238	6,978
負債純資産合計	30,719	28,418

## 要約連結損益計算書

(百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)
営業収益	7,342	2,869
営業費用	5,492	1,281
営業総利益	1,850	1,587
販売費及び一般管理費	1,021	748
営業利益	829	838
営業外収益	130	79
営業外費用	1,161	518
経常利益又は経常損失(△)	△202	400
特別利益	27	21
特別損失	—	733
税金等調整前四半期純損失(△)	△175	△311
法人税、住民税及び事業税	2	3
法人税等還付税額	△503	—
法人税等調整額	9	△56
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△259
少数株主利益	20	64
四半期純利益又は四半期純損失(△)	295	△323

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,657	1,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,257	528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,791	△2,435
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	1,607	△161
現金及び現金同等物の期首残高	1,855	2,193
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,463	2,032

## 第2四半期連結業績概況

当第2四半期連結累計期間の営業収益につきましては、買取債権回収高が2,071百万円(前年同期比2.0%増)、不動産賃貸収入455百万円(同9.7%減)、その他の収益342百万円(同92.9%減)を合わせ、合計では2,869百万円(同60.9%減)となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権買取原価が1,205百万円(同15.6%減)、不動産賃貸原価42百万円(同41.5%減)、その他の原価33百万円(同99.2%減)を合わせ、合計では1,281百万円(同76.7%減)となりました。この結果、営業総利益は1,587百万円(同14.2%減)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当120百万円(同14.6%増)、貸倒関連費用128百万円(同57.1%減)等を計上し、合計748百万円(同26.7%減)となりました。この結果、営業利益は838百万円(同1.2%増)となりました。

営業外収益は79百万円(同38.7%減)となり、また、営業外費用につきましては、主に支払利息493百万円(同53.6%減)により、合計で518百万円(同55.4%減)となりました。この結果、経常利益は400百万円(前年同期は経常損失△202百万円)となりました。

特別利益は21百万円(同20.3%減)となり、主に日本振興銀行株式会社の株式の評価損394百万円等による投資有価証券評価損732百万円を特別損失として計上したことにより、税金等調整前四半期純損失△311百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失△175百万円)となりました。

また、繰延税金負債の取崩しによる法人税等関連費用△52百万円、少数株主利益64百万円(前年同期比218.9%増)の計上により、四半期純損失は△323百万円(前年同期は四半期純利益295百万円)となりました。

## 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループの主要借入先である日本振興銀行株式会社の経営破綻に伴い、当社グループは当第2四半期連結累計期間において、保有する同社株式394百万円を主とする投資有価証券評価損732百万円を計上した結果、四半期純損失△323百万円を計上いたしました。また、当社グループでは、当第2四半期連結会計期間末において同行より11,018百万円、その他の中小企業振興ネットワーク企業3社より6,717百万円の借入金があることなどから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、下記の対応策を実施していくことにより、当該状況の解消に努めてまいります。

日本振興銀行株式会社の経営破綻以降、返済期限の到来した同行およびその他の中小企業振興ネットワーク企業からの借入金は借替が実行されておりますが、今後返済期限が到来する借入金についても借替の要請を行ってまいります。さらに、当社の企業価値向上・事業発展を目的とした資本政策を検討することにより、財務基盤の強化を図ってまいります。

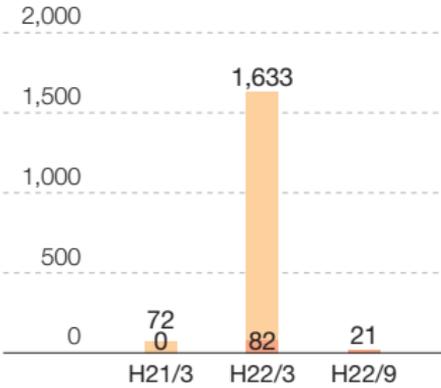
収益面については、自己投資による収益とフィービジネスによる収益のバランスが取れた資金効率の高い収益構造への転換、既存の買取債権の回収促進による資産と負債の圧縮、固定費等の経費削減により、安定した収益構造の確立を図ってまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、経常利益400百万円を計上し、営業キャッシュ・フローについても1,745百万円のプラスとなっており、引き続き安定した収益基盤の確立を推進することにより、借入金の返済原資拡大を目指してまいります。

## 会社の概要（平成22年9月30日）

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
証券コード	8426
設立	平成13年7月11日
本社	東京都千代田区九段南4-2-11市ヶ谷フィナンシャルビル TEL. 03-5210-1751 (代表)
営業許可	平成13年10月25日 (法務大臣許可番号第58号)
資本金	30億3,632万円
従業員数	54名

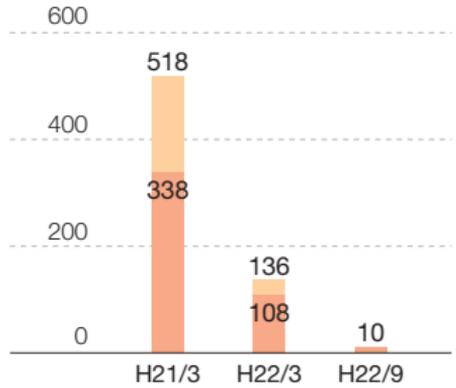
## 債権買取額

(百万円)



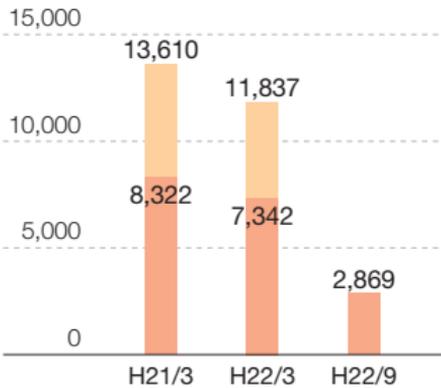
## 不動産買取額

(百万円)



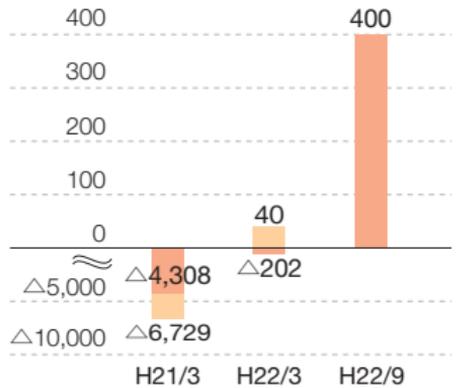
## 連結営業収益

(百万円)



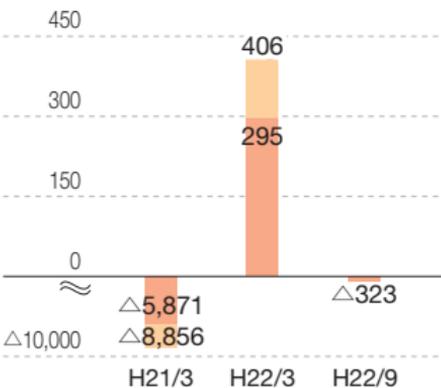
## 連結経常利益

(百万円)



## 連結四半期(当期)純利益

(百万円)



## 営業資産の内訳

(百万円)

